

平成30年第2回木津川市議会定例会（6月21日）

一般質問通告書

| | |
|------------------------|---|
| 1 尾崎 輝雄 | |
| 質問事項： 公立幼稚園の民営化構想の考えは | |
| 質問 要 旨 | <p>現在、木津川市では、地方交付税の削減に向けた行財政改革を進めていかなければならない。そこで、公立幼稚園の民営化については、どのように取り組もうとしているのか。</p> <p>また、行財政改革の一環として、公立幼稚園を民営化にすれば、どれだけ市の財政効果があるのか。（市の持ち出しがいくら少なくなるのか）</p> <p>そこで、質問として</p> <p>(1) 5月1日現在で、3幼稚園で446人の園児がいるが、幼稚園使用料等を差し引いた今年度の市の負担はいくらか。</p> <p>(2) 近隣市町村において、幼稚園民営化への取り組み状況は、どのようになっているのか。</p> <p>(3) 幼稚園バスの運行は、近隣市町村でも行われているのか。 また、行われている場合の運行状況は。</p> <p>(4) 幼稚園の使用料は、他市町村と比べてどうか。</p> |
| 質問事項： まち・ひと・しごと創生総合戦略は | |
| 質問 要 旨 | <p>先月、木津川市発足後の人口が1万人増加し、セレモニーが行われたとの新聞記事が掲載されていました。木津川市としてのまちづくりが順調に進んでいるものと思われる。</p> <p>日本全体では、少子高齢化や人口減少が進んでいる中、まちの将来を考えたとき、一人でも多くの市民に住んでもらうことが、まちに活気や賑わいをもたらす源であると考えます。</p> <p>そこで、以下の点について質問をする。</p> <p>(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略の現状と課題について 具体施策ごとの取り組みと重要業績評価指標（KPI）の状況と課題は。また、今後の新たな取り組みは。</p> <p>(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、3年間経過したが、すぐに大きな成果に繋がらないことは、理解している。しかしながら、職員の給与カットを行うなど、厳しい財政状況に直面しており、更なる行財政改革が必要な状況である。短期、中期、長期に分けて、重点戦略を議論し、事業の持続性を判断すべきであると考えます。 人口が増加している今のうちに、既成市街地の活性化対策に市民協働で取り組んではどうか。</p> <p>(3) 平成27年に空き家等の実態調査を実施している。既成市街地の高齢化や後継者がいないなどの問題は深刻であり、市内でも相当数の空き家が発生している。10年後20年後には、更に増加することが予測される。このような現状をどう考えているのか。また、対策は考えているのか。</p> |

| | |
|---------------------|---|
| 2 森岡 譲 | |
| 質問事項： 市内の交通安全対策は万全か | |
| 質問 要 旨 | <p>何回も質問するが、市内の交通安全対策の一つである交通標識や白線について、平成29年度予算でどれだけできたのか。この1年間を見ていると、できている場所もあるが、まだ消えかかっている白線も多くあり、市道をはじめ、府道、国道を合せて、警察や関係機関に働きかけ、危険な場所については、一刻も早く白線ができるよう努めるべきだ。</p> <p>そのために、次の点について聞く。</p> <p>(1) 標識や白線について、場所等のデータ化はされているのか。</p> <p>(2) 定期的に巡回していると言っているが、どれくらいのペースで更新しているのか。</p> <p>(3) 現在の予算での対応で充分なのか。また、予算を越える場合は、補正予算を組みながら対応すべきではないか。</p> <p>(4) 特に、学校通学路については、最優先で取り組むべきだ。</p> |

| | |
|---------------------|---|
| 質問事項： 各河川のヘドロの浚渫を急げ | |
| 質問要旨 | <p>井関川等の天井川をはじめ、各河川のヘドロ等が堆積し、流れも景観も悪くしている。これから出水期に入るが、それまでに今期の浚渫の計画はあるのか。また、浚渫の年度計画は、何年ごとになっているのか。</p> <p>各河川の浚渫について、次の点について聞く。</p> <p>(1) 各河川のヘドロ等堆積状況は、把握しているのか。</p> <p>(2) 各河川の安全パトロールは、どのくらいの回数を行っているのか。</p> <p>(3) ヘドロ等の堆積は、水の流れを悪くすると同時に、景観も悪くしている。早急に調査をし、浚渫を早めるべきだ。</p> |

| | |
|----------------------|--|
| 3 倉 克伊 | |
| 質問事項： (仮) 宇治・木津線について | |
| 質問要旨 | <p>(仮) 宇治・木津線は、合併以前より、旧木津町や木津川右岸の山城南部の自治体が、長く要望をしていた道路である。ようやく、新名神の開通の時期が予定として見えてきたが、そのアクセス道路として、また、国道24号の代替道路として、事業決定の運びとなってきた。そこには、地域住民の長い間の思いが、詰まっているものと推測する。</p> <p>そこで、市として、どのように思われているのか、以下のことを質問する。</p> <p>(1) 着工は、北から順に進めると耳にしたが、これまで、どのような要望をされてきたのか。また、開通の時期と、山城地域における東西の接続道路について、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 不動川公園は、災害時の緊急ヘリの発着場所として指定をしていると聞くが、予定ルートとして、公園と接道することが望ましいと考えるがどうか。</p> <p>(3) 今、着工工事中の木津川架橋を北進するルートと考えるが、上狛から椿井東部にかけて、多くのため池が存在する。ため池や水利を管理する上狛・高麗水利組合、椿井水利組合の方々の高齢化や、堤防の老朽化など、多くの課題がある。</p> <p>「この機会に何とか、ため池や水利を整備してほしい」との声が出ていることは知っていると思うが、市として、今後どのように対応していくのか。</p> |
| 質問事項： 過去の質問から | |
| 質問要旨 | <p>過去の、質問から今回は、2問質問をする。質問以降、どのような進捗があったのか。また、合わせて、関連の質問をする。</p> <p>(1) まず1問目は、平成29年12月議会で、「子育て支援のあり方」と題し、「育児休業中の保育要件」の緩和の質問をした。</p> <p>内容を確認すると、本市では、「子ども・子育て支援法施行細則の第4条で、育児休業対象児が、満1歳に達する年度の3月末まで」が、保育要件となっている。精華町・京田辺市や城陽市では、対象児の育児休業中は、保育要件の緩和措置をとっている。市としても、見直すべきと質問をしたが、その後、どのように検討され、結論はどうなったのかをお聞きする。</p> <p>(2) 2問目は、平成29年6月議会の一般質問や本年3月議会の代表質問に関連して質問をする。</p> <p>① 平成29年6月議会で、空き家と廃屋対策について質問をした。その時の答弁として、「木津川市空き家等対策協議会」で議論され、本年3月末に答申を受け、「空き家等対策計画」や「特定空き家等の判断基準」が策定されたところである。その後、判定作業を進めるとのことであったが、現在、どのような状況か。</p> <p>また、空き家バンクの活用は、進んでいるのか。</p> <p>② 本年の3月議会の代表質問で、市内の山間集落の人口減少対策として、「特区制度などを活用して、新しい転入者を受け入れる対策を」との質問をした。</p> <p>そこで、今議会の補正予算にも計上されている、「通い版地域おこし協力隊」の事業内容について、問う。</p> <p>また、本年6月、国では「住宅宿泊事業法」が施行され、府も関連の条例が施行される。</p> |

| | |
|------|---|
| 質問要旨 | <p>もともと、空き家等の利活用も含め、緩和措置としての意味合いは強いと考える。許可権は、府にあると承知をしているが、報道では各地域でトラブルなども発生している状況を耳にする。市民の窓口である行政として、対策を考えるべきと思うが、市はどのようにお考えか。</p> <p>③ 「空き家等対策計画」にも示されているが、空き家等に関連した内容が多岐に渡ることから、庁内では、総合窓口として『まち美化推進課』を位置付けているが、庁内連携には限度があると考え。すべてを総括できる担当課を設置してはと考えるが、どうか。</p> |
|------|---|

| | |
|-----------------------------|--|
| 4 森本 隆 | |
| 質問事項： 新学校給食センターの取り組みを問う | |
| 質問要旨 | <p>新学校給食センターは、平成32年度供用開始に向けて、平成29年7月に設計業務委託業者が決定し、現在、実施設計中である。また、学校給食法が平成21年4月から大幅に改正され、学校給食衛生管理基準も学校給食法で定められた。建築年度の古い木津、山城の両センターは、学校給食衛生管理基準に対応できていないため、早急な対応が求められている。</p> <p>新学校給食センターの設計、運用に関しては、次世代を担う子供たちのために、「安全で、美味しい給食の提供が必要」と考える。</p> <p>具体的な設計が完了する前に、新学校給食センターの課題と対応予定、今後の取り組みについて、質問する。</p> <p>(1) 現在の木津学校給食センターと山城学校給食センターの課題を、どう考えているのか。</p> <p>(2) 現状の課題に対して、新学校給食センターは、どのような考え方で計画しているのか。</p> <p>(3) 新学校給食センターの具体的な設計段階での課題は何か。</p> <p>(4) 現在、運営している3センターの残食率に差があると聞いている。残食率の現状と原因をどう考えているのか。</p> <p>(5) アレルギー対応についての取り組みは、どのようにしていくのか。</p> <p>(6) 新学校給食センターの建設を機に、食育に対する取り組みを強化してはどうか。</p> <p>平成28年度は、福知山市日新中学校で「スーパー食育スクール事業」を実施している。事業目標には、食事内容の改善・充実により、健康な心身が作られ、進路実現に向けての意欲が高まり、学力アップにつながっていく「食力アップの連鎖」を期待できるとなっている。</p> <p>子育て支援NO.1を掲げる市として、食育に関する現状と今後の取り組みは。</p> |
| 質問事項： 公共施設等総合管理計画の進め方について問う | |
| 質問要旨 | <p>平成29年6月定例会において、「公共施設等総合管理計画の進め方について問う」の一般質問を行い、計画の具体的な検討に際しては、福知山市のように「小中学校区毎に公共施設をマッピングして、市民に見える化して進めるべき」という提案をした。</p> <p>平成30年中に具体的な取り組み内容を決めていく過程の中で、公共施設等総合管理計画の具体案の進捗について確認する。また、公共施設、特に、学校施設の活用について提案する。</p> <p>(1) 計画の具体的な取り組みスケジュールは。</p> <p>(2) 統廃合が決まった施設の跡地利用の検討状況と課題について確認する。</p> <p>①加茂プラネタリウム ②加茂青少年山の家 ③木津学校給食センター ④山城学校給食センター ⑤相楽台保育園</p> <p>(3) 現在、公民館、交流会館がない地域は、地域の集会は、地元集会所で実施している。しかし、建築後20年以上経過している集会所は、大規模な修繕が必要となってきた。集会所の大規模改修費用に対する補助等は、どうしていくのか。</p> <p>(4) 小中学校の普通教室へのエアコン設置における債務負担行為が決定し、ほぼ全教室でエアコンの使用が可能となる。その中で、現在の小中学校における地域の方の利用状況は、従来と変わらず、活用されているとは言えない。特別教室(図書室等)からでも、地元開放していくべきではないか。</p> <p>また、夜間、休日等でも開放できるルールと体制整備が必要ではないか。</p> |

| | |
|---------------------------------|---|
| 5 谷川 光男 | |
| 質問事項： 大規模小売店舗の開発に伴う生活環境チェックは | |
| 質問 要 旨 | <p>城山台地区において、大規模小売店舗立地法に基づき、出店計画が進められているが、店舗設置後における、周辺的生活環境への配慮について伺う。</p> <p>(1) 今回、開発される敷地面積、建物の規模、駐車場の収容台数等について伺う。</p> <p>(2) 店舗周辺の交通への影響（市道との接続や駐車場への出入口の安全性等）は。</p> <p>(3) 店舗から発生する騒音による影響は。</p> <p>(4) 小売店舗における市民の雇用は。</p> |
| 質問事項： 更なる行政事務のスリム化を | |
| 質問 要 旨 | <p>市制施行10周年を経て、更なる飛躍を目指す本市において、人件費や扶助費の経常的な歳出経費が占める割合を示す「経常収支比率」が97.8%と前年度に比べ悪化しており、その改革の一環として、住民異動等に伴う諸手続きにかかる時間を、できるだけ短くする手段・方法として、戸籍・住民票等の窓口業務を統合化し「民でできるものは民で、官にしかできないものは官で」実施することにより、効率的かつ総人件費等のコスト削減が図られると考える。</p> <p>そこで、次の3問について質問する。</p> <p>(1) 住民票の異動、印鑑証明書の申請・廃止等の件数の現状は。</p> <p>(2) 総合窓口を設置する考えは。</p> <p>(3) 窓口業務の一部を民営化し、組織をスリム化する考えは。</p> |
| 質問事項： 子どもを守る安全対策は万全か | |
| 質問 要 旨 | <p>全国では、子どもたちが被害者となる悲惨な事件が後を絶たない。本市では、通学路の安全見守り隊や、PTAの安全見守りの活動等が実施されているが、今後さらに取り組みを進める必要があると考えるが、市の考え方を問う。</p> <p>(1) 各小学校区ごとの通学路の見守り状況について伺う。</p> <p>(2) 危険な市道の交差点における停止線（点線による）などの路面表示はできないのか。</p> <p>(3) 子どもを守る安全対策について、今後さらに新規で取り組む検討は。また、実施する予定の項目は。</p> |
| 質問事項： 災害時の高齢者等、特に、配慮が必要な方の避難対策は | |
| 質問 要 旨 | <p>本市では災害時、各小・中学校、公共施設が避難所に指定されているが、現実的に避難行動や、適切な避難場所への誘導、また、指定避難所では生活の難しさ等が考えられる。</p> <p>また、災害発生時、安否確認や、自力で避難ができない方への支援等、地域の力が不可欠で、行政と地域の連携（自主防災組織や民生・児童委員等）が大切である。</p> <p>そこで、次の3問について質問する。</p> <p>(1) 先般5月20日に3地域で行われた市防災訓練の参加状況や、情報伝達手段等は。</p> <p>(2) 市内の福祉施設の避難所の現状と収容人数は。 また、増加傾向にある要介護高齢者の人数は。</p> <p>(3) 今後の市防災訓練の実施計画は。</p> |
| 質問事項： 市政功績者表彰等を「文化の日」に実施しては | |
| 質問 要 旨 | <p>昨年3月に、市制施行10周年記念式典が盛大に開催され、その節目に市の表彰条例に基づき市政に寄与・貢献された方々（名誉市民、自治功労者等50名の方）が表彰されましたが、他にさまざまな分野で活躍・善行奉仕をされている方々が、おられると私は思っている。</p> <p>そこで、次の点について質問する。</p> <p>(1) 合併後、市民の模範と認められる、功労者表彰や善行者表彰の該当者の状況は。</p> <p>(2) 功労者表彰及び善行者表彰の選考基準や手順は、どのようにされているのか。</p> <p>(3) 市政功績者表彰等を、毎年11月3日「文化の日」に実施しては。</p> |

平成30年第2回木津川市議会定例会（6月22日）

一般質問通告書

| | |
|------------------------------|--|
| 1 山本 和延 | |
| 質問事項： リサイクル研修ステーションの今後は | |
| 質問要旨 | <p>今年度、9月末をもって、来館型から巡回型へ事業形態を見直すこととなったリサイクル研修ステーションについて、10月以降の施設のあり方と今後の方策について、次のとおり問う。</p> <p>(1) 建物の耐震性はあるのか。</p> <p>(2) 耐震化工事は行うのか。</p> <p>(3) 建物は解体するのか。</p> <p>(4) 緑化協会事務所の移転は考えているのか。また、本事業の活性化を進めるのか。</p> <p>(5) シルバー人材センター事務所の移転は考えているのか。また、本事業の活性化を進めるのか。</p> <p>(6) リサイクル研修ステーションの機能を今後どう活用していくのか。</p> |
| 質問事項： 市の無形文化財を掘り起こして、地域の活性化を | |
| 質問要旨 | <p>市には多くの文化財があり、水・緑・歴史が薫る文化創造都市をめざして、平成28年3月に木津川市文化財保存活用基本計画が策定された。</p> <p>(1) 未指定文化財の啓発と活用はできているのか。</p> <p>(2) 基本計画策定後、特に、無形文化財の掘り起こしや新たな指定は進んでいるのか。</p> <p>(3) 無形民俗文化財は、地域コミュニティの連帯を強め、地域の活性化にもつながると考えるが。</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| 2 長岡 一夫 | |
| 質問事項： 家庭系可燃ごみ有料指定袋制の導入について | |
| 質問要旨 | <p>平成29年12月21日に「木津川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正」に対する附帯決議が可決された。その後について、質問する。</p> <p>(1) 有料化に対する市民の理解をより一層得るため、新制度の趣旨・目的など、広く周知を図るよう努力されたか。</p> <p>(2) ごみ袋有料化による収益について、ごみの減量化の促進施策への活用及び利用策を市民に公表する取り組みは。</p> <p>(3) ごみの拠点収集について、市民が率先して取り組める施策について検討されたか。</p> <p>(4) 先進自治体の取り組みを調査し、有効な施策をどのように進めるのか。</p> <p>(5) ごみ減量施策は、環境部局だけで考えるのではなく、マチオモイ部をはじめ、まちづくり施策として、市全体で政策的に進める考えは。</p> <p>(6) 子供たちへの環境教育という視点で見ると、各学校においてごみ減量や、循環型社会への取り組みなど、特色ある取り組みを行なうことが考えられると思われるが、教育部の考えは。</p> |
| 質問事項： 福祉タクシー券の改革は | |
| 質問要旨 | <p>福祉を取り巻く環境は、以前と変わってきています。今の現状を見ますと、障害者福祉タクシー利用券とガソリン券との併用、いわゆる選択制を考えるべきだと考える。</p> <p>(1) ガソリン券の不正使用が問題だと思うが、国の高速道路料金割引の考え方を取り入れたらどうか。</p> <p>(2) 福祉タクシーが使えない人たちの移動支援の考えは。</p> <p>(3) タクシー券とガソリン券を併用したとすると、新たな財源がどれだけ必要か。</p> <p>(4) 平成28年12月の一般質問で、制度の組み立て方を検討すると答弁されたが、検討結果は。</p> |

| | |
|---|--|
| 3 西山 幸千子 | |
| 質問事項： 新学校給食センターでのアレルギー対応と幼稚園児への給食提供に細やかな配慮を | |
| 質問 要 旨 | <p>2年後の新学校給食センター稼働に向けて、準備が進んでいます。 老朽化している木津学校給食センターの対策が待たれていたことから、その手だてが取られることは良かったと思います。新センターを建設するにあたって、既存の学校給食センターより劣ることのないようにしっかりと取り組んで下さい。</p> <p>(1) 新学校給食センターの現段階の進捗状況どうですか。 (2) 加茂学校給食センターを基準とし見習うべきですが、食数・種類・認定方法など、アレルギー対応の詳細は、どうなりますか。 (3) 幼稚園児への給食提供は、量・内容も含め小中学校と違いがあります。どのように配慮しますか。 (4) 新学校給食センター建設にあたり、「学校給食検討委員会」の設置を求めます。</p> |
| 質問事項： 通学路と歩道の安全対策を | |
| 質問 要 旨 | <p>車を利用する人が多い、公共交通の便が悪く車を手放せないなど、社会全体で車が重宝されています。そのような中で、小学生は徒歩で登校しています。ちょうど3年前にも「安全な通学路を」として取り上げましたが、その後の状況を確認し、再度、問題点を指摘したいと思います。 また、子ども達だけでなく、高齢者も歩道を歩く時に注意が必要です。高齢者にとって、歩きやすい優しい歩道になっていますか。</p> <p>(1) 梅美台の中ノ川トンネルが開通してからの交通量は、どのようになっていますか。特に、大型車（ダンプ）などの通行はいかがですか。梅美台小学校の通学路でもありますが、登校班の様子はどうか。 (2) ドライバーの安全運転の意識付けにもなる、車につけるKSSV（木津川市スクールセーフティボランティア）ステッカーの配布を提案しましたが、どうなりましたか。 (3) 州見台や梅美台の歩道には、黒い飾り石が埋め込まれています。雨の時によく滑り、場合によっては、転倒して大けがになります。市としては、どのような対応を考えていますか。また、地域や学校から対策の要望は出ていますか。 (4) 市内には、歩道の形態をしても、幅が狭かったり街路樹や電柱の位置がずいぶん中に入っていたりして歩きにくく、ひどいところでは「歩けない歩道」がありますが、解決方法を考えていますか。</p> |
| 質問事項： まちづくりと子育て支援 | |
| 質問 要 旨 | <p>2017年の合計特殊出生率が発表されました。2年連続低下し1.43となり、京都府は1.31で、全国で44番目だそうです。 若い世代が安心して子どもを産み、育てられる環境が整っているかどうか、同時に地域との協力が重要で重要です。</p> <p>(1) 本市の「子育て支援」の主な取り組みは何ですか。 (2) 支援（加配）が必要な子どもたちの状況は。保育園ごとの受入数はどうなっていますか。 (3) 「子育て世代」が多い地域は。また、反対に少ない地域はどこですか。少ない地域に対し、市は、どのような手だてを考えているのですか。 (4) 子育ては、地域全体で応援するのが理想だと考えますが、保育園の統廃合は、地域の願いに逆行しませんか。市長の認識は。</p> |

| | |
|-------------------|---|
| 4 九社前 聿朗 | |
| 質問事項： 市民からの要望を受けて | |
| 質問 要 旨 | <p>先般の議会報告会など市民から、市政に対しての意見があった。重要と考えるので、市は、どのように考えているのかを質す。</p> <p>(1) 土師山公園からエゴノキ1号歩道橋を通る通路について、道が荒れており、高齢者や幼児を含む地域で生活する住民が、危険にさらされている。職員は、現場を車椅子やクラッチ（杖）を使って通行したことはあるのか。また、自治会からは、5年以上前に転倒による負傷者も出ていると市の担当課に報告したと聞いているが、市の対応は。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| 質問要旨 | <p>(2) 南加茂台保育園に通園しておられる保護者から、園児の安全確保のため、南加茂台保育園から野上公園の南側へも、横断歩道を設置してほしいとの声を聞いた。車の通行も多く園児の安全のためにも必要である。設置にむけて、公安委員会に要望してはどうか。</p> <p>(3) ごみ袋有料制に移行するにあたり、ごみ分別、収集、種類等、全市民に周知徹底されていると市は判断しているのか。行政が周知徹底と判断しているなら試行段階前に6月から早急に新ごみ収集カレンダーを作成し、全世帯に配布してはどうか。</p> <p>(4) 幼稚園、小中学校普通教室空調設備設置事業について、市は、PFI方式で実施し、当初予算において、業務内容の概要や金額の明示はほとんど明らかにならない中で、債務負担行為の総額15億1,400万円(13年間)が議決されたが、大きな事業でもあり、事業の詳細な内容や金額の明細を早急に明らかにするべきと考えるがどうか。</p> |
| 質問事項： その後の幼稚園給食の進捗状況は | |
| 質問要旨 | <p>平成29年10月1日付け、教育委員会から保護者宛に送付された「幼稚園への学校給食の提供について(お知らせ)」から、平成29年11月付けの保護者の説明会資料までを確認し、私は、一貫して、担任外の教職員の給食提供を我慢していただくことによって、園児に今まで通りの給食提供が可能であると、総務文教常任委員会や本会議において主張したが、今でも正確なデータに基づいて、正しい主張をしたと思っている。</p> <p>5月1日現在の各給食センターの給食実施人数を示されたい。</p> <p>また、平成32年度まで、従来どおりの給食提供は可能であると考えているが、教育委員会の考えは。</p> |
| 質問事項： 小学校英語の4技能化に伴う課題 | |
| 質問要旨 | <p>1 本市の小学校の英語の専科教員が配置されていない現状で、英検準一級を取得している教員は3%しかない。文部科学省では、平成32年度を見据え、新たな英語教育を実施していくために、小・中・高等学校を通じた英語教育の充実・強化を進めている。大学入試センターもセンター試験に変わり、平成32年度から始まる大学入試共通テストに向けて、平成32年度までに本市の5・6年生に対して、英語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能移行への対応が必要と考える。</p> <p>現場の教員や親も困惑していることから、早急に措置計画を示すべきと考えるがどうか。</p> <p>2 京都府教育委員会は、3年間で教員の時間外勤務を2割削減とする業務改善の方針を示しているが、英語教育の4技能化により、教員の時間外勤務を削減することができるのか。</p> <p>3 来年度からの全国学力テストでは、3年に一度、中学3年全員を対象に英語が導入される。導入目的は、4技能化移行との関連があると思われるが、小学生5、6年生に導入されている「読む、書く」の授業の取り組み目標と4技能化移行をどのように関連させていくのか。</p> |

| | |
|----------------------|--|
| 5 伊藤 紀味枝 | |
| 質問事項： まちづくりは道路網の整備から | |
| 質問要旨 | <p>昨年12月に、木津東バイパスの起工式が行われた。東中央線や(仮称)木津川橋がつながれば、国道24号と国道163号が重複区間となっていることによる、慢性的な渋滞が緩和されるとともに、災害時や事故などの緊急時の代替道路として使用することができる。</p> <p>また、JR奈良線によって東西に分断されていた駅西と駅東が一体化され、本市のまちづくりに大いに期待される。そこで質問する。</p> <p>(1) 木津東バイパスの工事が急ピッチで行われているが、工事の進捗状況と完成予定は。また、木津奈良道交差点の改良工事の進捗状況と、接道部分の工事計画は。</p> <p>(2) (仮称)鹿背山高架橋の進捗状況は。</p> <p>(3) (仮称)木津川橋は、北と南の完成を待つのみとなっています。北側の国道163号の接道がまだ出来ていません。現在の状況は。</p> <p>(4) 地域高規格道路宇治木津線は、山裾ルート案に決まった。</p> |

| | |
|-----------------|---|
| 質問要旨 | <p>(仮称)木津川橋とつながることにより、木津川の東側の道路が複線となり、物流による経済効果の期待等が挙げられるとともに、災害や事故等の緊急時の代替道路となる。</p> <p>今後、市として、関係機関や関係自治体との立ち位置は。</p> <p>また、私は、南北同時に進めるとともに、沿道の関係市町とも連携して進めるべきと考えるが、市の取り組みは。</p> |
| 質問事項：子どもを守るためには | |
| 質問要旨 | <p>新潟市で起きた小2女児殺害事件は、登下校中の児童を犯罪から守る難しさを改めて示した。市も子どもを見守る様々な取り組みを実施していることは認識しているが、次の点を質問する。</p> <p>(1) 見守り活動に取り組んでいる地域は増えているが、限られた人数で校区全域に目を光らせるのは、至難の業である。</p> <p>犯罪被害にあわないために、危険な場所を重点的に見回り、犯罪を防止する試みをしている所もある。各学校で危険箇所を把握しているのか。マップをつくり、監視していることをアピールすることも、抑制につながると考えるが。</p> <p>ホットスポット・パトロールで、重点的に見守りをするすることで、不審者には脅威と感じさせることが必要と考える。市民にも、常に子どもたちを見守るように啓発する事が大事である。また、自転車やバイクの前かごに「防犯パトロール・〇〇小学校」など掲げることが、犯罪の抑止となると思うが、市の考えは。</p> <p>(2) 防犯灯をLED化し、整備を進めることは理解しているが、旧地域においては、防犯灯もなく暗い所も多くある。小規模開発されたところにも防犯灯が無く、真っ暗な所も多くある。必要なところに、防犯灯を設置するようにすべきであるが、考えは。</p> <p>(3) 防犯カメラを各小学校に3基ずつ設置しているが、増設の考えは。増設することにより、犯罪の抑止効果や、犯罪発生時には容疑者の特定にも役立ち、安全で安心なまちづくりの役割が果たせると考えるが。</p> <p>(4) 通学路や公園の草刈りや木々の刈り込みなどの事業は、入札等の関係もあるが、同じするなら早くすべきであるが、市の考えは。</p> |

平成30年第2回木津川市議会定例会（6月25日）

一般質問通告書

| | |
|---------------------------------|--|
| 1 宮嶋 良造 | |
| 質問事項： 投票機会を増やす | |
| 質問要旨 | <p>1 先の知事選挙において、高の原イオンモール内で、期日前投票所を開設したことについての成果と課題の評価は行っていますか。 次回の選挙でも同様に、期日前投票所を設置してはどうですか。（ただし、加茂・山城の両支所での期間短縮はやめるべきではないですか。）</p> <p>2 10歳代、20歳代の投票率は、他の年代や他の自治体の同世代と比べてどうでしたか。 引き続き、若い人の投票立会人の公募、登録制度を継続してください。</p> <p>3 バリアフリー・場所のわかりやすさ・駅に近く通勤通学時に行きやすい・駐車スペースの確保などを鑑みて、第11投票区の兜谷集会所を、イオンモール内に変更してはどうですか。</p> |
| 質問事項： 城山台周辺の道路整備を万全に | |
| 質問要旨 | <p>1 東中央線と国道163号の接続は、いつ頃になりますか。</p> <p>2 木津駅の東西を結ぶ道路の新設にあわせて、2つのJR踏切の遮断機が閉まっている時間を短縮できるようJRに働きかけてください。</p> <p>3 城山台に出店予定の大型店の承認には、周辺道路整備が絶対条件であり、周辺道路整備が出来ないままの出店承認は認められません。</p> |
| 質問事項： ごみ袋有料化は究極の無駄遣い、中止または延期すべき | |
| 質問要旨 | <p>1 ごみ袋有料化の段取りは、どこまで進んでいますか。ごみ袋の製造業者や、販売店は決まりましたか。10月以降のごみカレンダーなどの周知文書はできましたか。市民に分かりやすいものになっていますか。</p> <p>2 質問1で示したように、ごみ袋有料化のために多くの手間をかけ、不法投棄や間違ったごみ出しがおこらないように市民の理解を得ても、結局、ごみ袋は、最後には、ごみと一緒に燃やしてしまいます。市民が年間数千万円を負担するごみ袋有料化は、究極の無駄遣いではありませんか。</p> <p>3 ごみ袋有料化は、市民の理解を得られたのでしょうか。例えば、拠点収集の集積所で指定袋を使っていない可燃ごみがでた場合は、どのように対応するのですか。</p> <p>4 ごみ袋有料化により、ごみ減量化につながったのかをどのように検証しますか。</p> <p>5 減量が難しい廃プラごみを燃やすごみと一緒に有料ごみとすることは、有料化による減量の方針に反しませんか。また、プラ容器包装ごみの分別をあいまいにしませんか。これまで通り分別すべきではないですか。</p> <p>6 10月のごみ袋有料化は、今からでも遅くありません。中止すべきです。少なくとも延期すべきと考えますが、いかがですか。</p> |

| | |
|------------------|--|
| 2 高岡 伸行 | |
| 質問事項： 学校でのいじめ対応は | |
| 質問要旨 | <p>近年の急速な携帯電話等の普及により、メール、SNS等での誹謗中傷的な書き込みや、仲間外し等、新たないじめ問題が起こっています。</p> <p>こうした中、平成25年9月「いじめ防止対策推進法」が施行されました。この事は、いじめ防止に向けた国や地方公共団体、学校等の責務を明らかにし、いじめ防止対策の基本となる事項を定めたものです。そこで質問します。</p> <p>(1) いじめ問題は、教師の指導の在り方が問われる問題でもあり、関係者がそれぞれの役割を果たし、一体となって取り組むことが必要です。いじめられている子どもの立場に立った親身の指導を行っていると思うが、どのように実施されているのですか。</p> |

| | |
|------|--|
| 質問要旨 | <p>(2) 児童、生徒が怪我をしたり、長期間欠席する事を余儀なくされたり、転校する等の重大な案件は、何件ありましたか。平成27年から平成29年度までの各年度の件数をお尋ねします。</p> <p>(3) 他人の痛みを理解できるような教育的な指導が必要と考えるが、いじめる側への指導方法は。</p> |
|------|--|

3 森本 茂

質問事項： 子育て支援日本一のまちづくりを目指そう

| | |
|------|--|
| 質問要旨 | <p>河井市長は、平成30年度の施政方針の中で、「子育て支援No. 1のまちづくりとして、学校におけるICT教育の推進や、ホップアップ・ステップアップ学習などの補充学習の実施、並びに子育て支援医療費助成制度の拡充、そして、待機児童ゼロを目指し、5つの民間保育園や認定こども園の誘致を行い、また、つどいの広場や病児・病後児保育などの取り組みを進めてまいりました。」と述べておられます。事実、実行していただき成果が上がっていると私は思っており、評価しているところです。</p> <p>そこで、もう一步、ソフト面の取り組みを進め、「子育て支援日本一のまちづくりを目指そう」との思いで、以下の提案を致します。</p> <p>(1) 未来を担う子どもや妊産婦を、市民みんなで受動喫煙の悪影響から守るために、市民・事業者等すべての人が、たばこの煙が健康に及ぼす悪影響についての認識を共有し、受動喫煙のないまちづくりを協力して進める。誰もがきれいな空気で快適に過ごせるよう、受動喫煙をなくすために、市民みんなが「きれいな空気で健康長寿」を目標とし、「受動喫煙防止宣言」に取り組んでほしいと考える。</p> <p>具体的な取り組みとしては、市が率先して、たばこの煙が健康に及ぼす悪影響について、正しい知識を得るための啓発活動を実施するなど、受動喫煙防止に向けた取り組みを行っていただきたい。</p> <p>市長の見解をお伺いします。</p> <p>(2) 次に、泣き声をあげるかもしれない赤ちゃんを連れて、気軽にお店で買い物や喫茶店などに入ったりする場合に、お母さんたちの肩身が狭くならないように「赤ちゃんOK」のステッカーを作成し、お店に協力をしてもらってはどうか。</p> <p>ステッカーがあることにより、「赤ちゃん連れでも大丈夫ですよ」というメッセージを伝えることができるのではないのでしょうか。</p> <p>市長のご見解をお伺いします。</p> |
|------|--|

質問事項： 備えあれば災いなし

| | |
|------|---|
| 質問要旨 | <p>近畿地方が6月6日に梅雨入りしました。昨年より14日早く、平年よりも1日早いそうです。これからは、梅雨前線の停滞による、局地的大雨や台風による豪雨（集中豪雨）、洪水や土砂災害、そして、崖崩れや土石流、地滑りなどに備える必要があります。</p> <p>5月8日、京都府がまとめた浸水区域図は、千年に1度の想定の水害（洪水・浸水）予測であり、これに対する対策の強化が求められています。また、平成29年6月に国土交通省が初めて、家屋倒壊等氾濫想定区域図を公表し、山田川と井関川の堤防付近の家屋は、氾濫で倒壊する危険性を指摘しています。</p> <p>そこで、以下の点について、市長のご見解をお伺いします。</p> <p>(1) 国交省（淀川河川事務所）の想定最大規模降雨による洪水浸水想定の見直しにより、本庁舎の想定浸水深が、3.2mから4.2mに上がりました。平成26年1月末に本市が作成した水害用の防災マップは、国交省の見直しの前の想定です。国交省による最新の木津川洪水水浸想定区域図と、今回、府がまとめた「千年に1度」の豪雨洪水水浸区域図と、国交省の初めての家屋倒壊等氾濫想定区域図を利用して、本市の水害用防災マップを改訂すべきと考えますが、市長の見解をお伺いします。</p> |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 質問要旨 | <p>(2) 現在、台風上陸想定72時間前から、自治体としての災害に備えるための、時系列の防災行動計画(タイムライン)が作成されていますが、自主防災会などの地域でも、まず、水害に備えたタイムラインを作成できるよう支援すべきと考えます。タイムラインにより、「いつ」「誰が」「何をするのか」取るべき行動をあらかじめ時系列で作成しておけば、災害が迫ったとき、素早く、安全に避難することができます。</p> <p>市長の見解をお伺いします。</p> <p>(3) 台風や集中豪雨により、木津合同樋門を閉じた時、内水(小川・反田川)の氾濫により床下・床上浸水などの被害が起こってきました。この流域の今現在の排水能力は、(常設ポンプ毎分30tが5台、パッケージポンプ毎分10tが1台、排水ポンプ車毎分30tが2台(山城支所に配備))合計毎分220tの内水排水能力となりますが、内水氾濫までの雨量や安心できる時間的目安は、どうなのかお聞きします。</p> <p>また、国交省への援助要請で、毎分60tの排水ポンプ車が来たならば、木津合同樋門は、合計毎分250tの排水能力になると伺っています。これで床下浸水にいたらない対策になっているのか、お答えください。</p> <p>(4) 内水対策の抜本的な対策として、国や府との協議は、どれだけ進んでいるのですか。私は、大雨による浸水被害を軽減し、安全な市街地を保全するためには、この流域の土地の地下に雨水貯留施設を整備して、平成25年と平成29年のような床上・床下浸水被害を出さないように、進めてはと考えますが、市長の見解をお伺いします。</p> <p>(5) 消防団の詰所の耐震化と診断ですが、昭和56年以降に建築しているかどうかが目安となります。12カ所の詰所の建築年月日がわからない状況です。早く確認の聞き取り調査等を行い、必要であれば耐震診断を受け、十分な強度がなければ、耐震改修を計画する必要がありますと考えますが、市長の見解をお伺いします。</p> <p>(6) 災害時に最も頼りになるのは、地元の消防団であります。ドローンを災害状況等の調査のために購入すると共に、団員に操縦免許の取得も必要と考えますが、市長の見解をお伺いします。</p> |
|------|---|

質問事項： 地元の課題解決に向けて

| | |
|------|--|
| 質問要旨 | <p>1 平成28年3月18日に、クリーンセンター先進地研修(木津川市主催)で行ったエコライフ紀北(和歌山県橋本市)においては、地元と橋本市が20年を区切りとして、その後のことについては協議するとの協定書を交わされていました。鹿背山川向の新クリーンセンターの管理者でもある河井市長は、このクリーンセンターを何年稼働させるおつもりですか。地元鹿背山区と法花寺野区は、地価の下落や農作物の風評被害や、そして、交通災害にもさらされるのではありませんか。次の移転先は、負担の公平性からいっても、他地区で建設するべきです。</p> <p>2 府道天理加茂木津線の鹿背山浜町の歩道設置等の道路改良工事はもちろんですが、御霊神社から新クリーンセンターまでの府道の白線(センターライン)は、はっきり見えています。そこから先、勝手神社手前までが薄く、消えかかっています。同時に、JR木津駅から御霊神社までも消えかかっている状況です。白線(センターライン)が見えるようにするべきです。</p> <p>3 府道天理加茂木津線の御霊神社から相楽中部消防本部手前の四つ角手前が、自動車で渋滞します。第1灯籠寺踏切の南側、木38今城宮ノ裏線の踏切手前に白線もしくはスピードを控える表示板を設置していただきたい。また、灯籠寺町の地域内の道路を通りぬけしないように表示板設置を求めます。</p> <p>4 城山台地区には、電柱等に、街区表示板がありません。新興住宅地には、ちゃんと街区表示板があるのに、城山台地区だけは、UR都市機構が設置せずに本市に移管したものであると思われる。移管を受けた本市は、街区表示板の設置を進めて下さい。地元区からも聞いております。</p> <p>また、関連して、JR木津駅前東線と木852号線、JR木津駅東出口から城山台へ登っていく道ですが、道の南側が畑で人家がほとんどなく、徒歩で帰宅される女性から暗くて不安になる為、防犯カメラを設置していただきたいとの声を聞いております。こちらも設置を進めるべきです。</p> |
|------|--|

| | |
|------------------|--|
| 質問要旨 | <p>5 鹿背山区では、東中央線のJR高架橋の民家に接する場所に、防音壁の設置を強く要望しているところですが、実施に向けての、その後の進捗を問います。</p> <p>6 中央体育館にネーミングライツ（命名権）の募集をしてはいかがでしょうか。</p> <p>以上、6点について市長の見解をお伺いします。</p> |
| 質問事項： 「七夕祭り」の復活を | |
| 質問要旨 | <p>今年も、夏のシーズンが到来です。夏といえば、やはり祭りです。</p> <p>本市の夏祭り（納涼花火大会）は、7月28日（土）であり、例年、市内外から、多くの方が見物にこられており、昨年の観光見込み客数は、約5万人でした。</p> <p>木津地域では、屋台の出る大きな祭りとしては、「七夕祭り」「納涼花火大会」「木津布団太鼓祭」の3つがあり、特に、小さい子どもさん達には、「良き故郷の思い出」として、いつまでも脳裏に残るものと考えております。</p> <p>しかし、合併2年くらいよりこの1つ「七夕祭り」が、中断されたままになっています。多くの市民から、七夕祭りの再開をとの声を聞いております。「七夕祭り」は、同級生や友人・知人などと再会する出会いの機会であり、未婚の男女には、「街コン」の場そのものであります。</p> <p>東中央線や木津東バイパスがあと数年で供用開始になります。そうすれば、市道335号線で以前のように「七夕祭り」を復活することは可能だと考えます。</p> <p>市長の見解をお伺いします。</p> |

| | |
|------------------------------|---|
| 4 谷口 雄一 | |
| 質問事項： 部活動休養日の設定と教職員の働き方改革を問う | |
| 質問要旨 | <p>本年度より、市内の中学校において、新たに部活動休養日が設定された。原則、土・日曜日のいずれかと水曜日を休養日とし、週2日以上を休養日にするとし、教職員の負担軽減の一助になるものと理解するところである。</p> <p>そこで、近年、全国的に問題となっている教職員の長時間勤務の実態に対し、本市の部活動指導の在り方と働き方改革の取り組みについて、以下のとおり質問する。</p> <p>(1) 府教育委員会による勤務実態調査では、月80時間以上残業している教職員が、全国調査と比較しても相当に多く、深刻な状況にあるとの結果が示されている。</p> <p>本市の状況と、主に部活動指導の視点から、働き方改革に対する認識はどう考えているのか。</p> <p>(2) 部活動休養日の設定は、部活動指導に関する国や府の指針、また、府の働き方改革実行計画を踏まえた取り組みと理解するが、早い段階での導入に至った経緯は。</p> <p>(3) 教職員の負担軽減が期待されるとともに、子どもたちにおいても、効率的な練習時間となれば健康に配慮ができ、さらに、休養日を学習など部活動以外に活用できるなど、よりバランスの取れた学校生活に資する効果が期待できると考える。見解はどうか。</p> <p>(4) 今後の展開として、部活動指導員や地域のサポーターといった外部の人材の活用が必要と考えるが、活用事例や今後の計画は。</p> <p>(5) すべての教職員が、常に心身ともに健康な状態で、授業や子どもたちの指導に専念できるよう、後日に、この取り組みが効果的であったかの検証が必要であると考えます。</p> <p>導入前の状況把握やデータは持ち合わせているか。また、検証可能な状態となっているのか。</p> |
| 質問事項： 学研木津東地区の今後は | |
| 質問要旨 | <p>学研木津東地区は、梅谷地区に所在する約55ヘクタールの土地である。</p> <p>URの平成30年度中の撤退を受け、本年度上半期までに事業化を前提とした最終処分の方針が、決定されるものと承知している。</p> <p>改めて、今後のスケジュールと事業者の誘致活動等について、以下のとおり質問する。</p> <p>(1) 平成24年2月に土地利用計画を策定され、都市と田園が共生するまちづくりの方針が示されたが、一方では、住宅需要等、学研都市全体としての整合性に留意して、事業化を進める必要があるとも示されている。</p> |

| | |
|--------------|---|
| 質問 要 旨 | <p>計画策定から6年以上経過し、現段階における現実的な土地利用の考えは。</p> <p>(2) URと本市、双方において、事業者への交渉が進められてきたと思うが、本市の誘致活動、営業活動の実績は。</p> <p>(3) 企業や研究機関において、市内の学研地区への進出意欲はどうか。 企業が立地できる用地に変更するために、用途変更の計画はないか。また、府の方針はどうか。</p> <p>(4) URが持っている土地について、いずれの条件においても契約が不成立となった場合、もしくは残地が生じた場合の対応は、どのような可能性があるのか。</p> |
|--------------|---|

5 柴田 はすみ

質問事項： 防災施策の強化と防災教育の取り組みは

| | |
|--------------|--|
| 質問 要 旨 | <p>近年、地震だけでなく予測不可能な災害が、日本各地で起きている現状を踏まえ、防災対策の強化は重要課題と考える。以前より、何度か取り上げてきた。</p> <p>例えば、女性や弱者に配慮するために、防災会議に女性委員を3分の1登用することや、HUG（避難所運営ゲーム）を導入したスムーズな避難所運営、屋外やコンビニへのAED設置、マンホールトイレや、外から使用できる洋式トイレの設置、要支援者名簿の整備、防災士の育成、防災教育の推進、防災アプリの開発等について、質問してきた。後、約1年で2期目が終わる節目にあたり、現状とこれからの課題とともに振り返り、これからの木津川市の安心・安全の取り組みを進めるために、以下の何点を質問する。</p> <p>(1) 防災会議の女性委員登用は進んでいるか。</p> <p>(2) 防災訓練の実施状況は。</p> <p>(3) AED設置は進めているのか。</p> <p>(4) 防災士の育成の考えは。</p> <p>(5) 戸別受信機の予算を撤回したが、その後の施策は。</p> <p>(6) 防災教育の現状とこれからの予定は。</p> <p>(7) 市にとって最優先の防災施策は何か。</p> |
|--------------|--|

質問事項： ワクチン再接種の助成を

| | |
|--------------|---|
| 質問 要 旨 | <p>白血病の治療で骨髄移植を受けた場合、それまでの定期予防接種で、できていた抗体がすべて失われることから、再接種が必要となる。定期予防接種は、国などの助成があるが、再接種には適用されず、自己負担となっている。</p> <p>京都市では、7月から全額助成制度を開始した。再接種の対象となるのは、小児肺炎球菌感染症や、沖縄や愛知で流行中のはしか、B型肝炎、風疹、日本脳炎等13種類のワクチンである。</p> <p>そこで、市の現状と取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 市で把握されている再接種の対象患者の数は。</p> <p>(2) これまでに市に相談や要望等はなかったか。</p> <p>(3) 助成制度の考えは</p> |
|--------------|---|

質問事項： 市民の安心・安全を守れ

| | |
|--------------|--|
| 質問 要 旨 | <p>公明党は、4月から100万人アンケート調査を国会議員、地方議員全員で行っている。内容は子育て、介護、防災、中小企業と4種類だ。議員が地域を回り、実際の住民の声を聞き、内容によっては国に要望して、政策に繋げ、市で対応できることは市に声を届けていくことが目的である。</p> <p>そこで、市民から聞いた声から以下の点を質問する。</p> <p>(1) 国道163号の海住山寺口の交差点は、瓶原方面からの車が見えにくく変則的な交差点である。地域長から改善の要望が出ていると思うが、どう対応するのか。</p> <p>(2) 梅美台の防犯灯が暗い所があるが、認識しているのか。また、今回のLED化で改善されるのか。</p> <p>(3) 小学校の見守りについて、地域によって様々だと思うが、現在の状況は。また、最近、各地で連れ去り等の事件が頻発しているが対策は。</p> |
|--------------|--|

- (4) 市内でもサルやシカ、イノシシなどにより、農作物を食い荒らす被害が多く発生している。有害鳥獣を駆除するハンターも減少化・高齢化してきており、市としても、積極的な育成や駆除への対応が必要であると思うがどうか。

平成30年第2回木津川市議会定例会（6月26日）

一般質問通告書

| | |
|----------------|--|
| 1 河口 靖子 | |
| 質問事項： 市民サービスとは | |
| 質問要旨 | <p>平成30年第1回定例会において、予算審議を行いました。特に印象に残る市長の答弁は「合併算定替で約6億円の収入が減る」と「危機的状況だと思っている」ということでした。</p> <p>では、この危機的状況の中で市民に対するサービスはどうなっていくのでしょうか。具体的な政策として、何を実行されるのか見えてきません。そこで、以下の事を問います。</p> <p>(1) 「施設の統廃合や機能の複合化を進める」との方針の中で、市民サービスを今後どのように進めて行こうと考えているのか。</p> <p>(2) 10月には支所の事務分掌の見直しに伴う機構改革が実施されます。市民サービスに影響はありませんか。</p> <p>(3) 木津川市地域公共交通（コミュニティバス）について、市民サービスは十分満たされていると考えていますか。</p> <p>(4) 奈良市と木津川市との連携・協力に関する包括協定の詳細は。</p> <p>(5) 木津川市緑の基本計画策定後の取り組み状況は。</p> |

| | |
|----------------------|---|
| 2 島野 均 | |
| 質問事項： 学校給食無償化 | |
| 質問要旨 | <p>公立小学校の給食費については、月平均4,301円、中学校4,921円負担となっているのが現状です。</p> <p>子どもの貧困などを背景に全国自治体で無償化の動きが広がっており、全国で約60もの自治体を実施している。本市も小中学校の給食を無償化にすると数億円かかると思われるので、段階的に在学2人目から無償にするなど、多子家庭を応援しては。</p> |
| 質問事項： サイクリング観光事業の活性化 | |
| 質問要旨 | <p>自転車観光のスタイルは、2001年京都サイクリングツアープロジェクトで始まり、多くの自転車愛好家をはじめ、広く一般府民も自然とふれあい、人間性の回復、健康づくりに役立っている。</p> <p>本市では、京都八幡木津自転車動線は、起点から終点まで（約45km）あり、昭和62年に整備が完了し利用されている。市内の範囲の整備状況（休憩場所、トイレ環境等）、そして、レンタサイクルの現状、自転車レーン（現在何kmか）、自転車の駅等の現状は。</p> <p>自転車活用推進法では、都道府県・市町村に、自転車活用推進計画を定めるよう努めるとしているが、本市の状況は。</p> |
| 質問事項： 時間外労働の是正を | |
| 質問要旨 | <p>本市の職員は時間外労働が多い現状である。</p> <p>健康管理の問題だけでなく、仕事と家庭との両立、少子化、女性キャリアの形成、男性の家庭参加等を困難にする原因であり、是正する必要がある。</p> <p>今国会で審議中の働き方改革の推進のため、本市でも人事管理システム、管理職のマネジメントなどを行い、時間外労働を削減するべきと考えるがどうか。</p> |

| | |
|----------------------|--|
| 3 炭本 範子 | |
| 質問事項： 第3次行財政改革大綱を問う | |
| 質問 要 旨 | <p>平成19年の合併後、無駄の削減や効率性を図りながら行財政改革を進めてきました。この2月には、第3次行財政改革大綱が策定されました。第2次の行財政改革を踏まえながら、5つの重点改革項目について、今後どのように取り組み、どう健全な行財政基盤を確立するのか、最小の経費で最大の市民サービスをどう実現するのか、各項目ごとにお伺いします。</p> <p>(1) 協働の市政の推進について。 (2) 定員適正化計画について。 (3) 事務事業の見直しについて。(補助金、外郭団体) (4) 公共施設の総合管理について。</p> |
| 質問事項： 高齢者が移動する手段の確保を | |
| 質問 要 旨 | <p>高齢者の交通事故の比率は高くなっています。高齢ドライバーの逆走や、信号無視など運転の危険性が多くあります。運転免許証を自主返納される高齢者が増えつつある中で、市の実態や今後についてお伺いします。また、高齢者が生活する上で、移動の困難さを感じている現状についてお伺いします。</p> <p>(1) 運転免許証自主返納率は。 (2) 運転免許証自主返納者への優待策は。 (3) 交通安全計画には「高齢者の自主的な運転免許証の返納を促進する」とあるが手法は。 (4) 出発点から目的地までをそのまま結ぶ(ドア・ツー・ドア)のデマンドタクシーの普及が必要では。</p> |

| | |
|-------------------------|--|
| 4 酒井 弘一 | |
| 質問事項： コミュニティバスの改善 | |
| 質問 要 旨 | <p>バスに対する市民の要望は、非常に強いものがあります。加茂から市役所(木津)へ直接行けるバスが欲しい。山城郷土資料館へ直接行ける市内循環バスが欲しい。その他、バスのコースや増便など多くの要望があります。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 地域公共交通連携協議会で協議されていますが、今年度の課題設定は何ですか。 (2) 市長は、「市の統一性、一体化が進んできた」と言います。しかし、バスに関しては、旧3町のスタイルのままで、「木津川市のバス」とはとても言える状況にありません。「木津川市バス」を目指して、どう取り組みますか。 (3) 山城、加茂、木津の3つの地域は住民の年齢構成で大きな違いがあります。市は、「木津川市バス」の実現に向けて、この年齢構成の大きな違いを考慮すべきですが、どうですか。</p> |
| 質問事項： 国際交流都市・木津川市のイメージは | |
| 質問 要 旨 | <p>京都新聞で「ともに暮らす～国を超えて」シリーズの記事が、5回連載されました。そこでは、外国人児童生徒の「学び」、外国人児童生徒への支援、日本語教室などが取り上げられていました。市内に住む外国人は増え続けています。その結果、外国人児童生徒も増えています。サンタモニカ市と姉妹都市盟約を結んだ木津川市に対して、また、国際交流員も配置している木津川市に対して、近隣の市町から、羨望の目も向けられています。</p> <p>そこで、伺います。</p> <p>(1) 小中学校に在籍している外国人児童生徒の実態はどうですか。学習や語学支援はどうしていますか。 (2) 国際交流協会が行っている日本語教室の実態を把握していますか。また、どのような実績と課題がありますか。 (3) 姉妹都市盟約を結んだサンタモニカ市との交流は、中学生の交換派遣のほかにもどのようなことをしていますか。 (4) 市の国際交流員の活動の実態はどうですか。今後の活動予定は何ですか。</p> |

質問事項： 平和の願い

| | |
|--------------|--|
| 質問 要 旨 | <p>日本国民が真剣に核兵器廃絶と世界の平和を考える夏が近づいてきました。 今年も6月26日、例年のように核兵器廃絶を求めて、国民平和大行進が木津川市を訪問されます。そこで、市長に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 核兵器廃絶国際署名（ヒバクシャ署名）に、市長は、市民を代表して署名してください。(2) 本市を訪問される2つの平和行進を、市長は、直接迎えてください。(3) 国際交流都市・木津川市として、日本国民の核廃絶の願いを姉妹都市サンタモニカ市へ伝えてください。 |
|--------------|--|